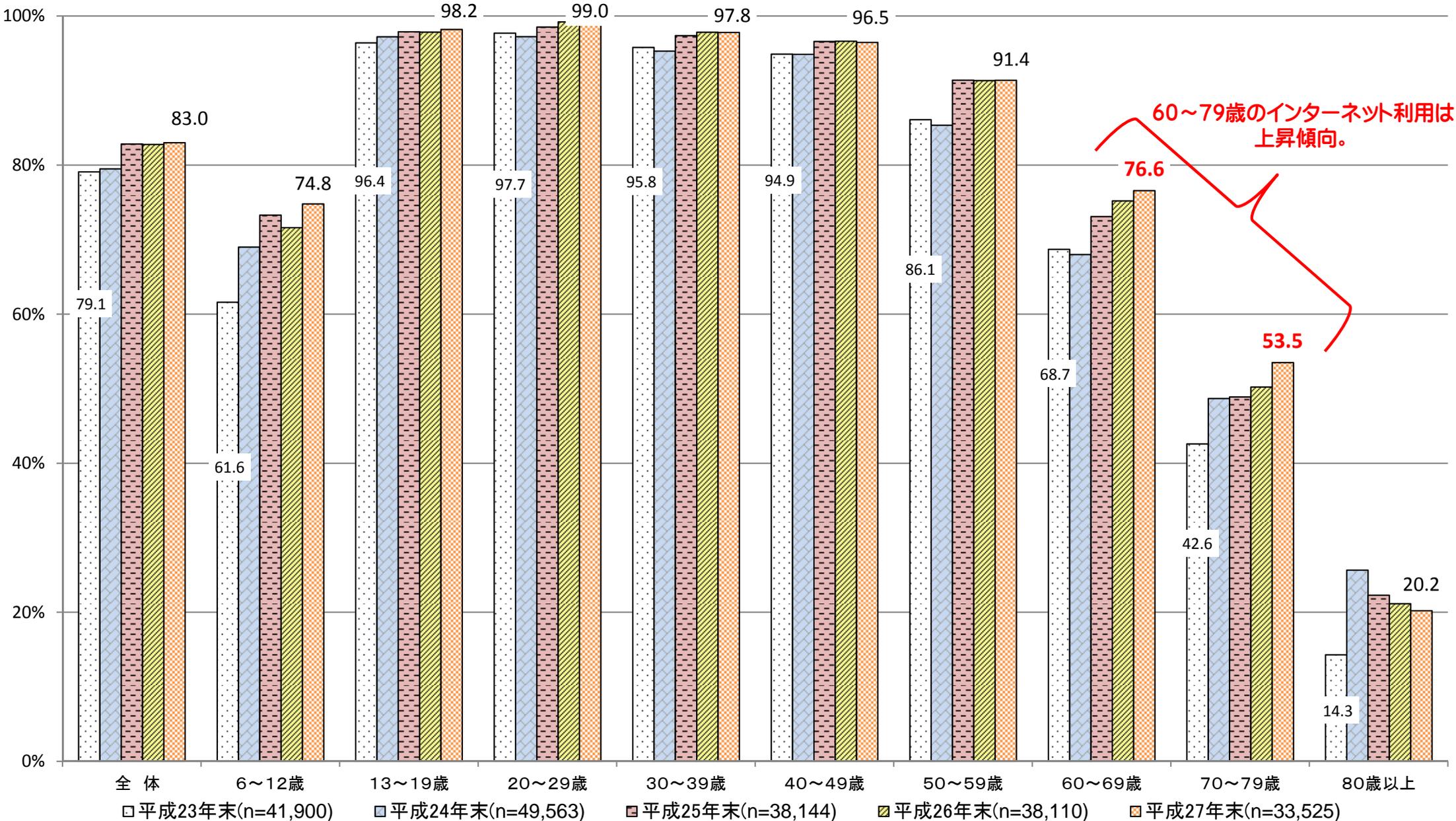


# 平成27年通信利用動向調査 ポイント

※タイトルに(世帯)と付した項目は世帯調査、(企業)と付した項目は企業調査、(個人)と付した世帯構成員調査結果に基づく。  
※「主な情報通信機器の保有状況(世帯)」のグラフを除き、無回答を除いている。

# 1 インターネットの利用動向①（年齢階層別インターネット利用状況）

13歳～59歳のインターネット利用は9割を上回っており、60～79歳のインターネット利用は上昇傾向。



60～79歳のインターネット利用は  
上昇傾向。

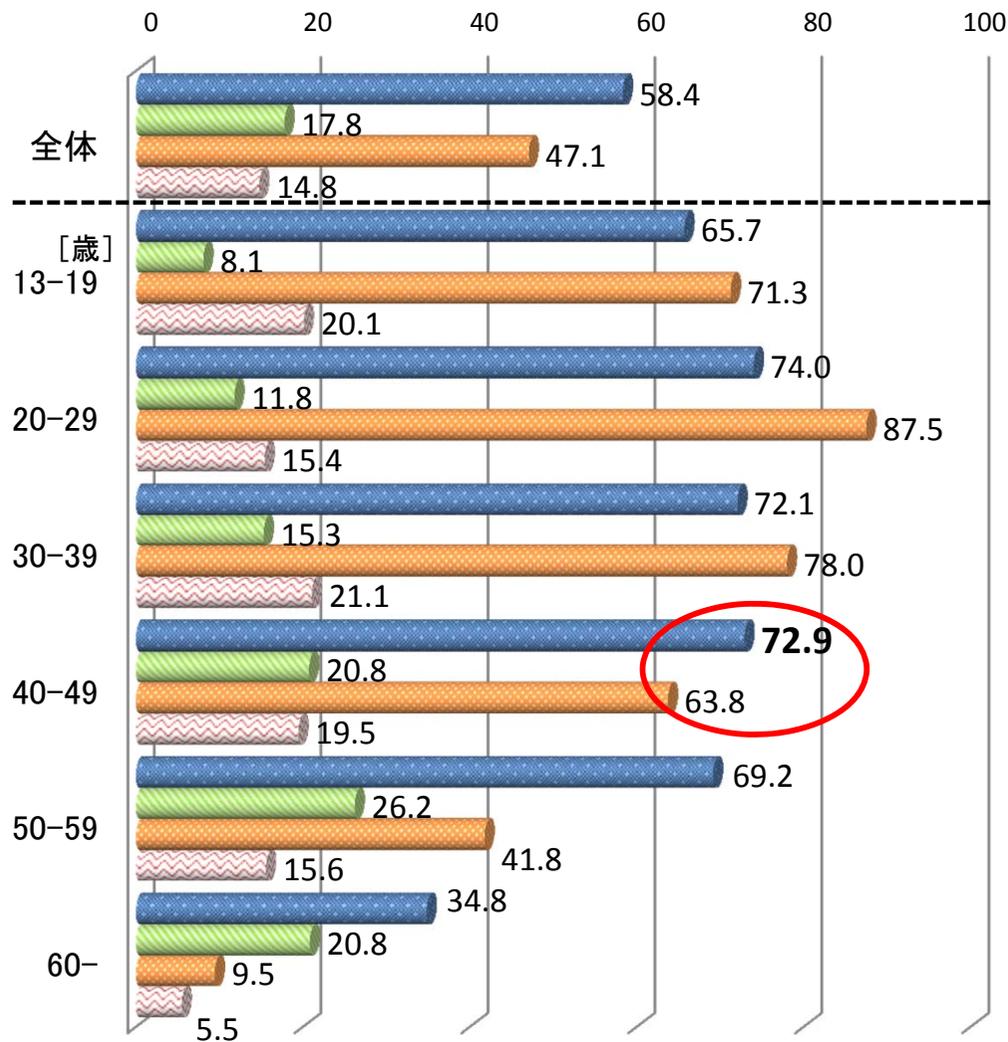
※ 「全体」は6歳以上の調査対象者を指す。

## 2 インターネットの利用動向②

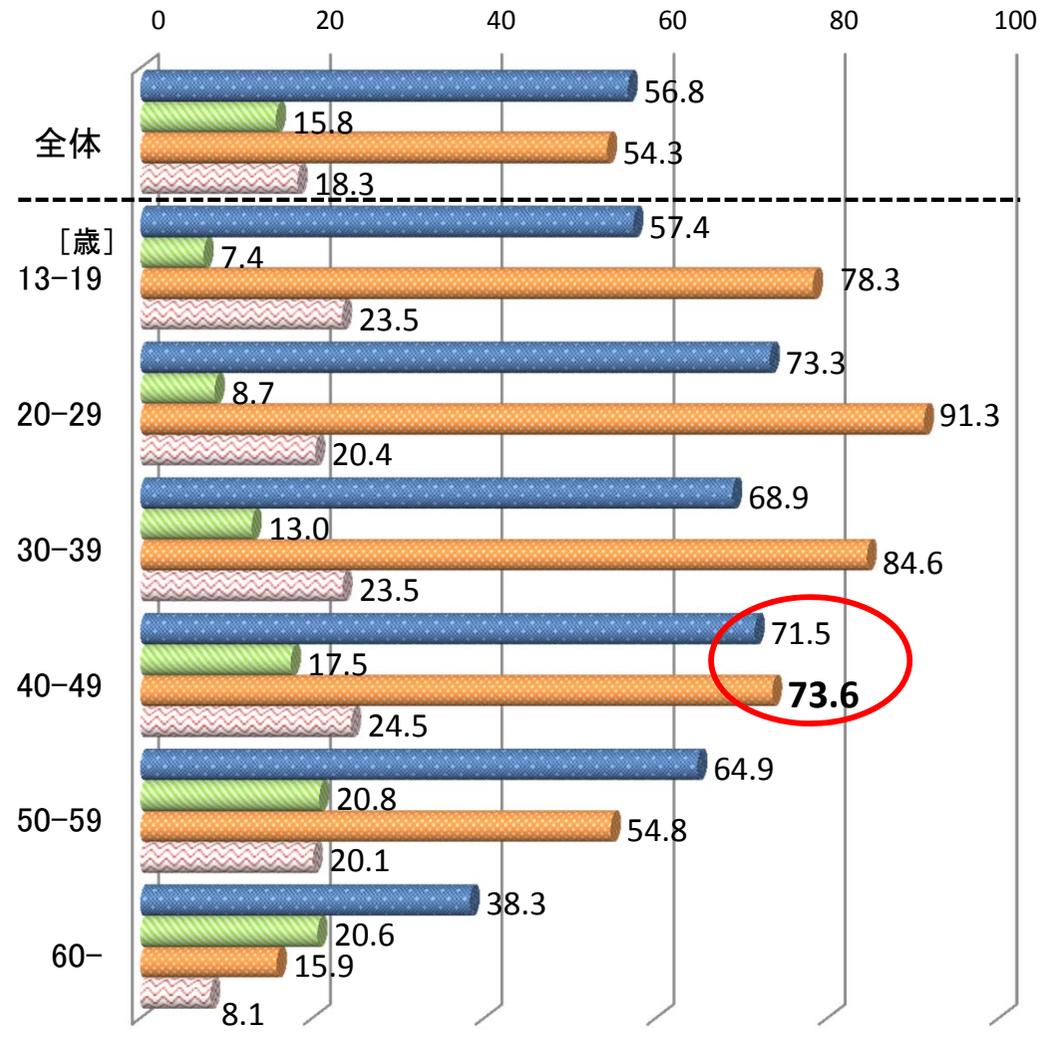
### 世代別インターネット利用機器の状況

スマートフォンでの利用が全ての世代において上昇しており、特に、40歳代では初めてパソコンの利用を上回った。また、タブレット型端末での利用も、全ての世代で上昇している。

【平成26年末】



【平成27年末】



■ パソコン ■ 携帯電話・PHS ■ スマートフォン ■ タブレット型端末

■ パソコン ■ 携帯電話・PHS ■ スマートフォン ■ タブレット型端末

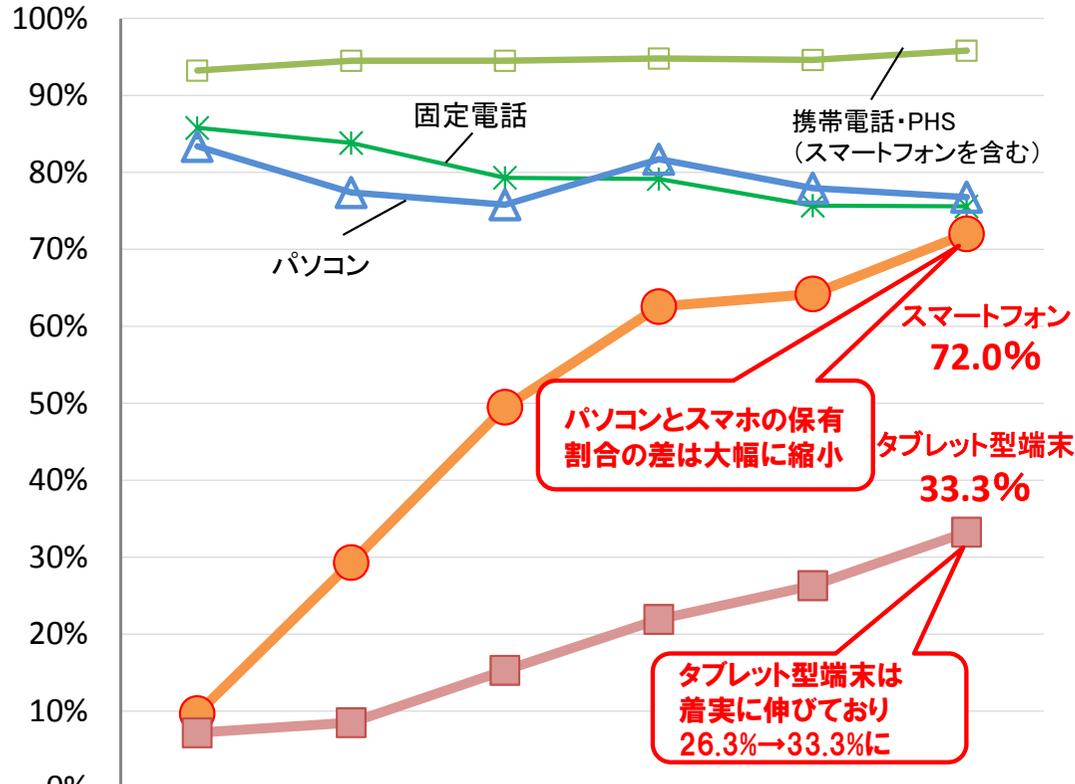
※ 当該比率は世帯構成員(個人)のインターネットの利用割合を端末別・年齢階層別に示したものである。

※ 携帯電話・PHSは、スマートフォンを除く。

### 3 情報通信機器の普及状況

主な情報通信機器の保有状況（世帯）  
（平成22年～平成27年）

スマートフォンを保有している世帯の割合は上昇を続け、パソコンを保有している世帯との差が縮小。また、タブレット型端末も上昇。

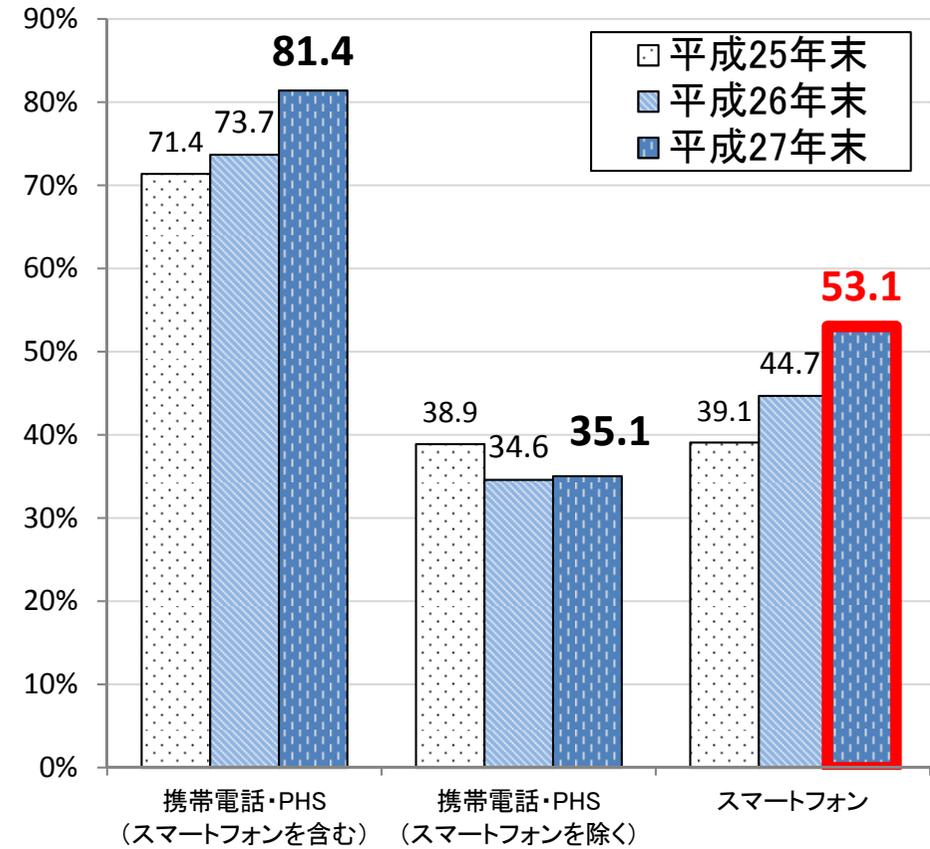


	平成22年末	平成23年末	平成24年末	平成25年末	平成26年末	平成27年末
固定電話	85.8	83.8	79.3	79.2	75.7	75.6
パソコン	83.4	77.4	75.8	81.7	78.0	76.8
スマートフォン	9.7	29.3	49.5	62.6	64.2	72.0
携帯電話・PHS	93.2	94.5	94.5	94.8	94.6	95.8
タブレット型端末	7.2	8.5	15.3	21.9	26.3	33.3

※当該比率は、各年の世帯全体における各情報通信機器の保有割合を示す。

主な情報通信機器の保有状況（個人）  
（平成25年～平成27年）

スマートフォンを保有している個人の割合は、上昇を続け今回初めて半数を上回った。

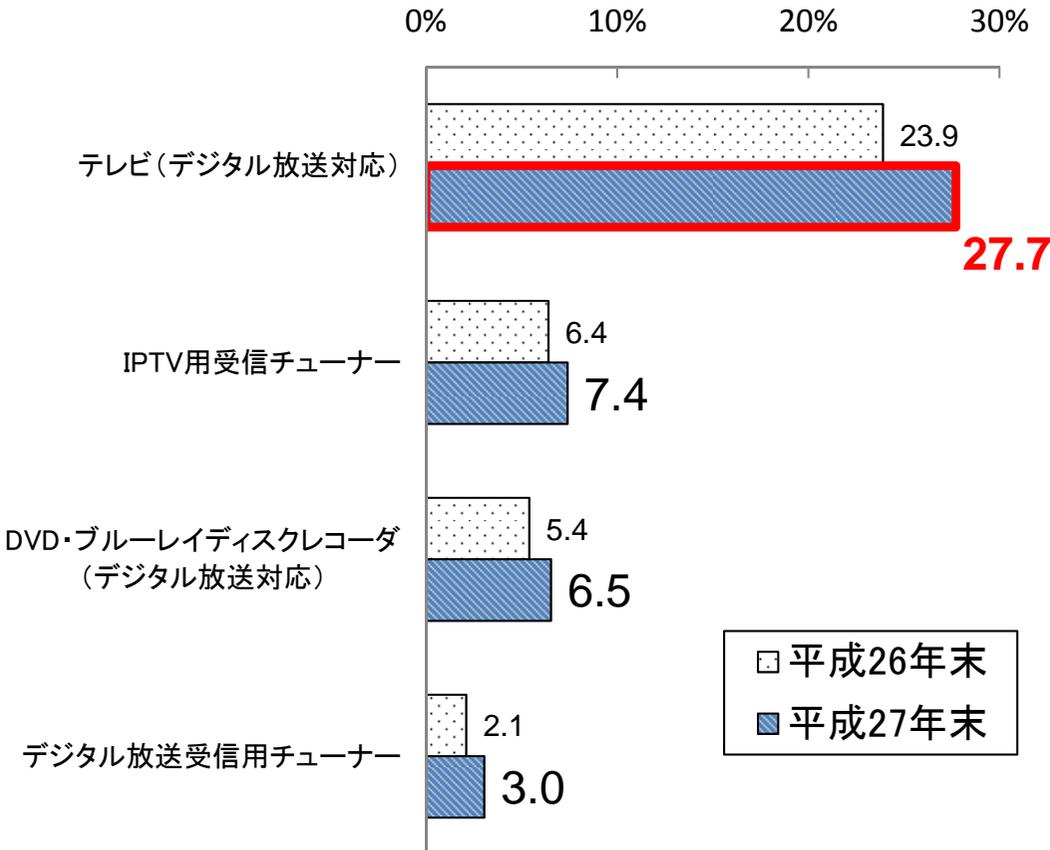


携帯電話・PHS（スマートフォンを含む）  
携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）  
スマートフォン

# 4 デジタルテレビ等によるインターネットの利用状況（世帯）

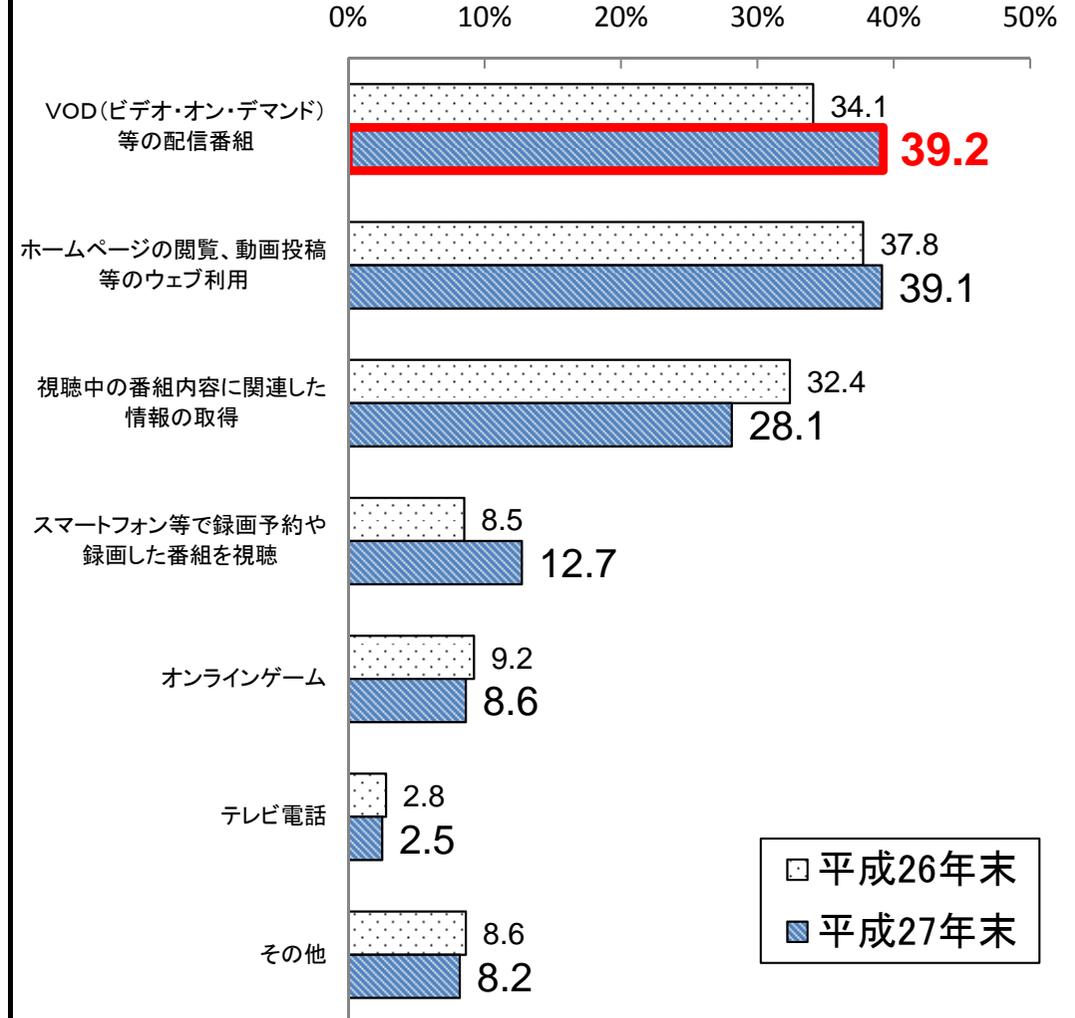
## デジタルテレビ等のインターネットとの接続状況

デジタルテレビをインターネットと接続して利用している世帯は、約3割と上昇。



## デジタルテレビ等のインターネット接続機能の利用目的

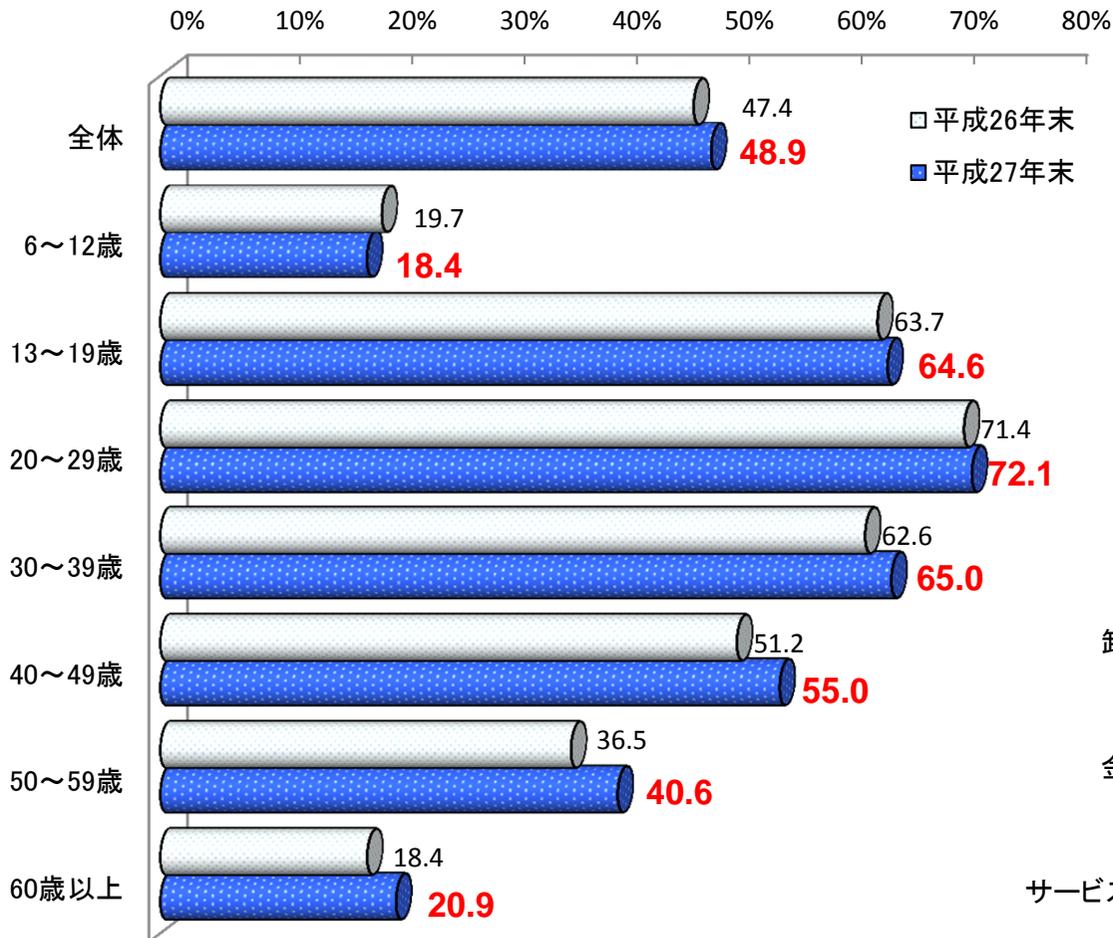
デジタルテレビをインターネットと接続して利用する目的は、「VOD等の配信番組」の割合が上昇。



## 5 ソーシャルメディアの利用動向

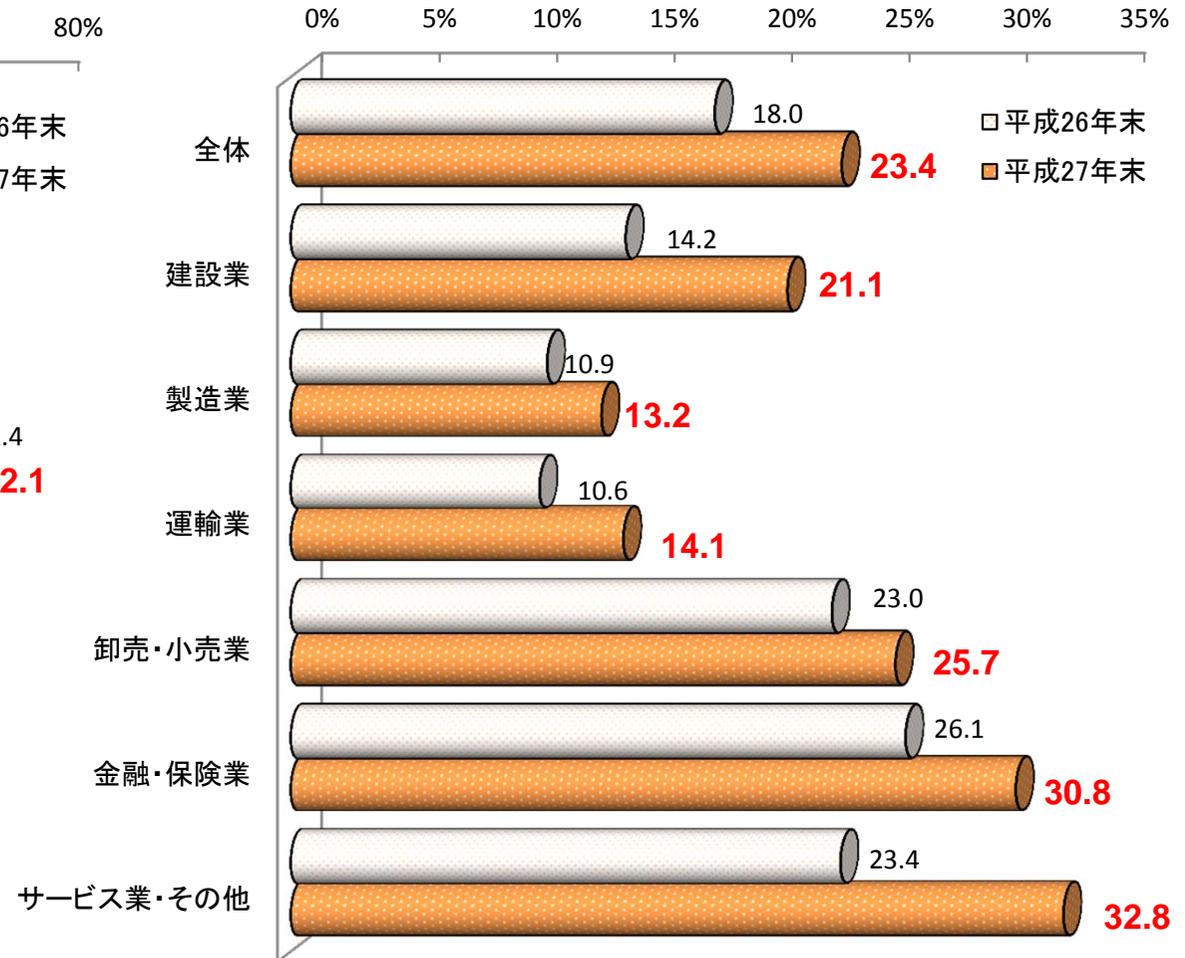
### ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況（個人）

ソーシャルネットワーキングサービスの利用者の割合は、特に40歳代、50歳代で上昇している。



### ソーシャルメディアサービスの活用状況（企業）

ソーシャルメディアサービスを活用している企業の割合は、全ての産業において利用が上昇。

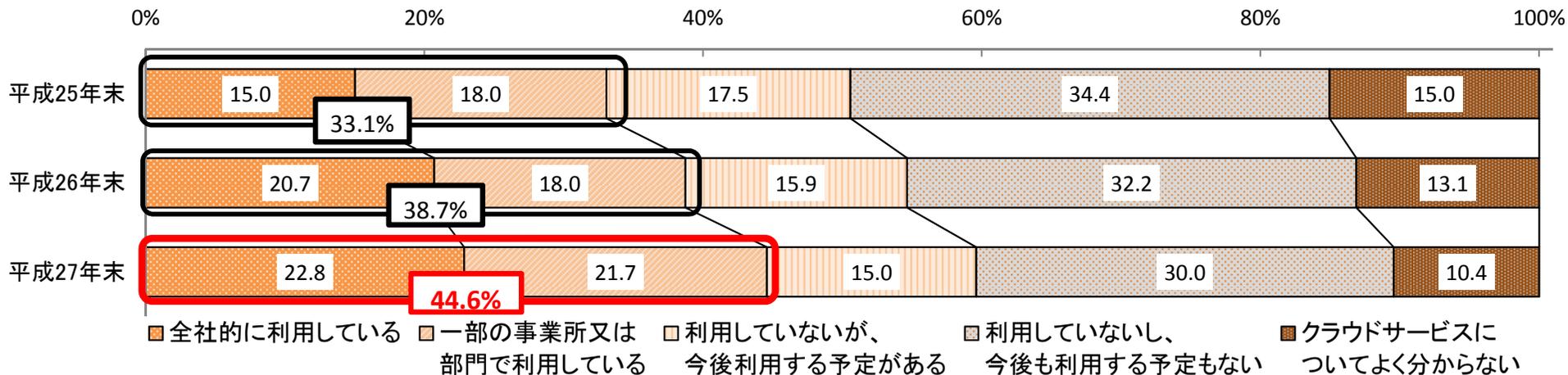


※ソーシャルメディアとは、複数の人とインターネットでやりとりできる情報サービスのこと。

## 6 クラウドサービスの利用状況（企業）

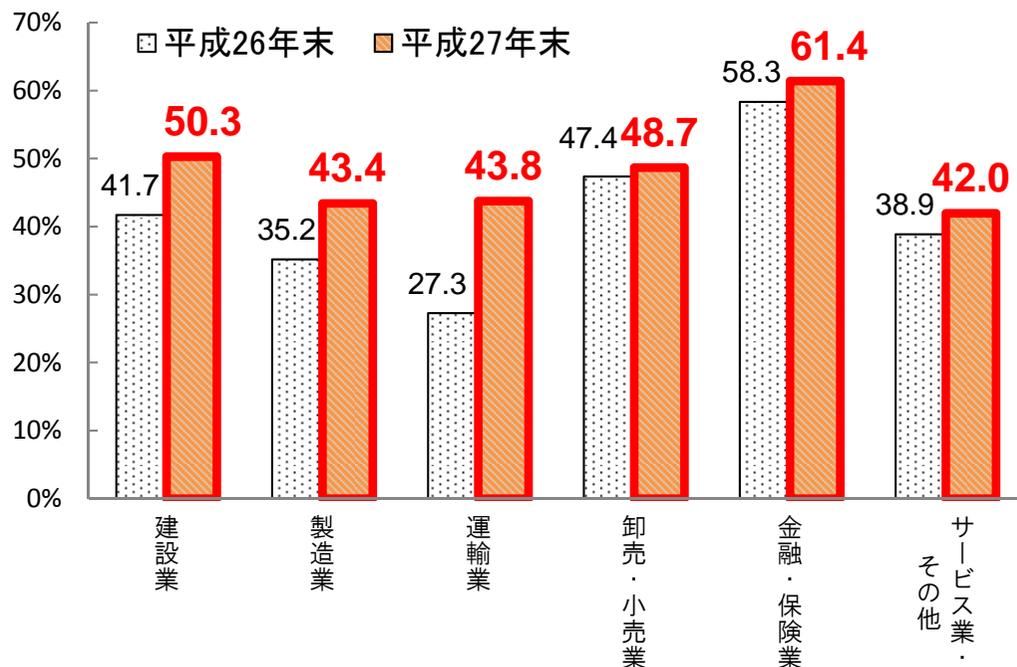
### クラウドサービスの利用状況

クラウドサービスを利用している企業の割合は年々上昇しており、平成27年末には4割を上回った。



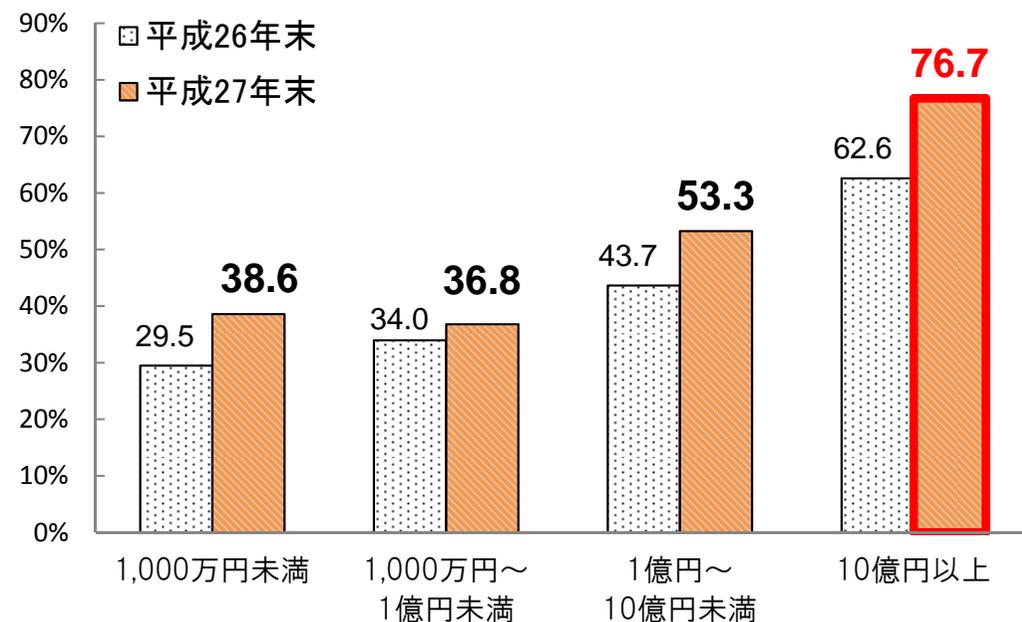
### 産業別クラウドサービスの利用状況

全産業において、利用している企業の割合が上昇。



### 資本金規模別クラウドサービスの利用状況

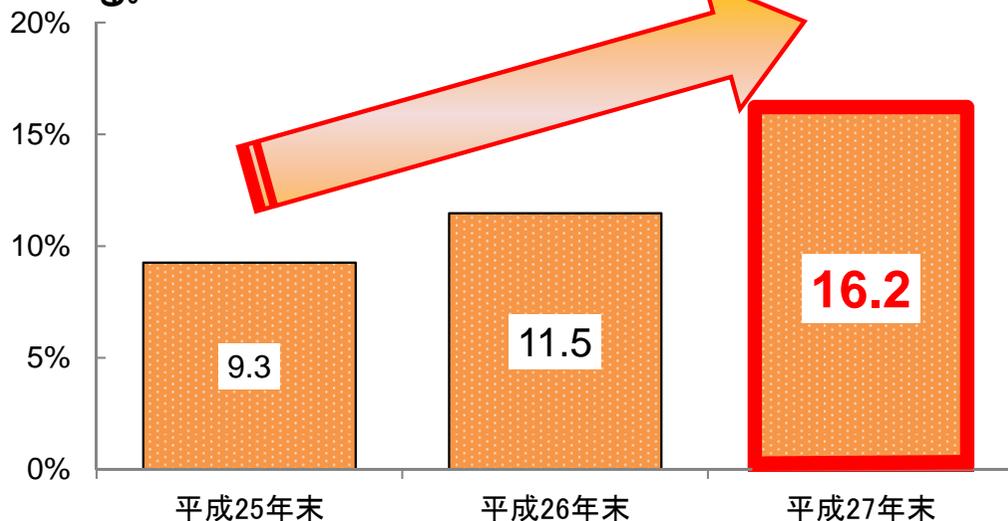
資本金10億円以上の企業の7割以上が利用している。



## 7 テレワークの導入状況等（企業）

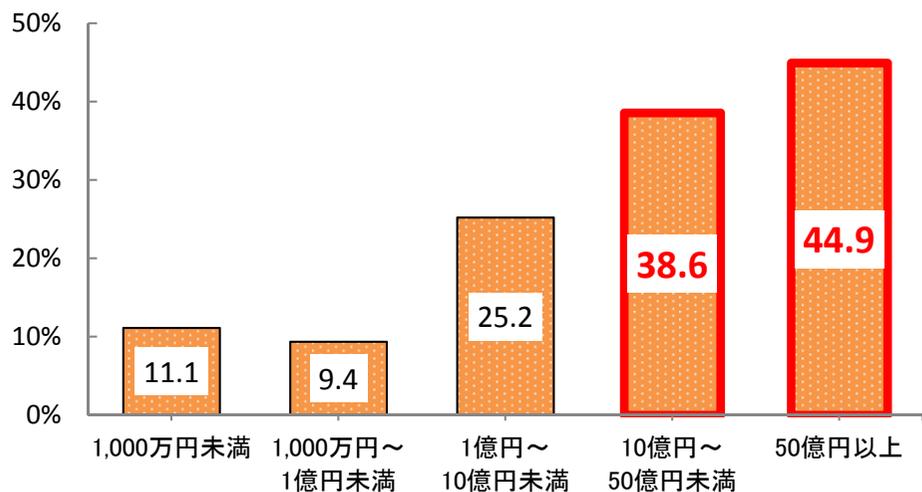
### テレワークの導入状況

テレワークを導入している企業の割合は年々上昇している。



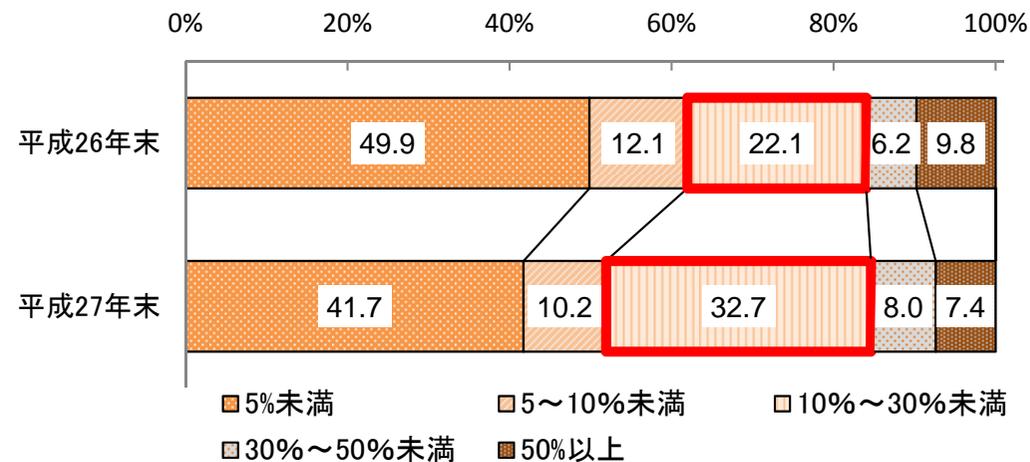
### 資本金規模別テレワークの導入状況

資本金10億円以上で導入している企業の割合が約4割。



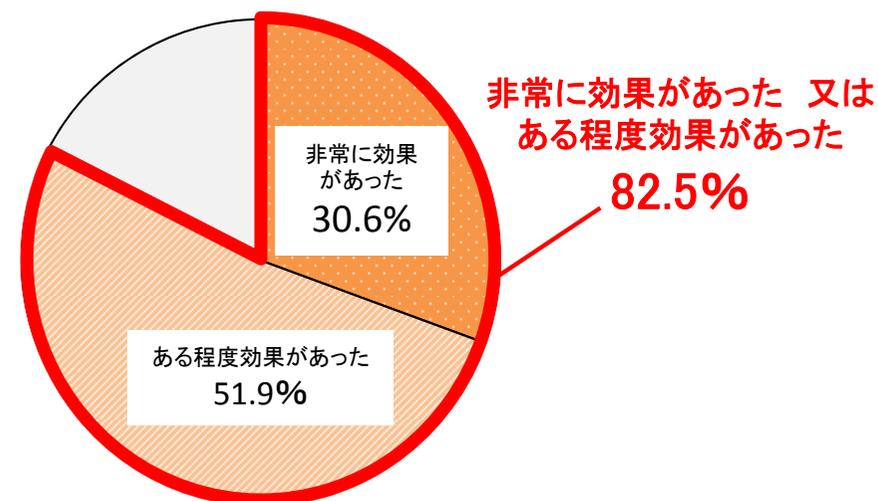
### テレワークを利用する従業員の割合

テレワークを利用する従業員の割合は、「5%未満」が低下する一方で「10%～30%未満」が約2割から約3割になっている。



### テレワークの導入効果

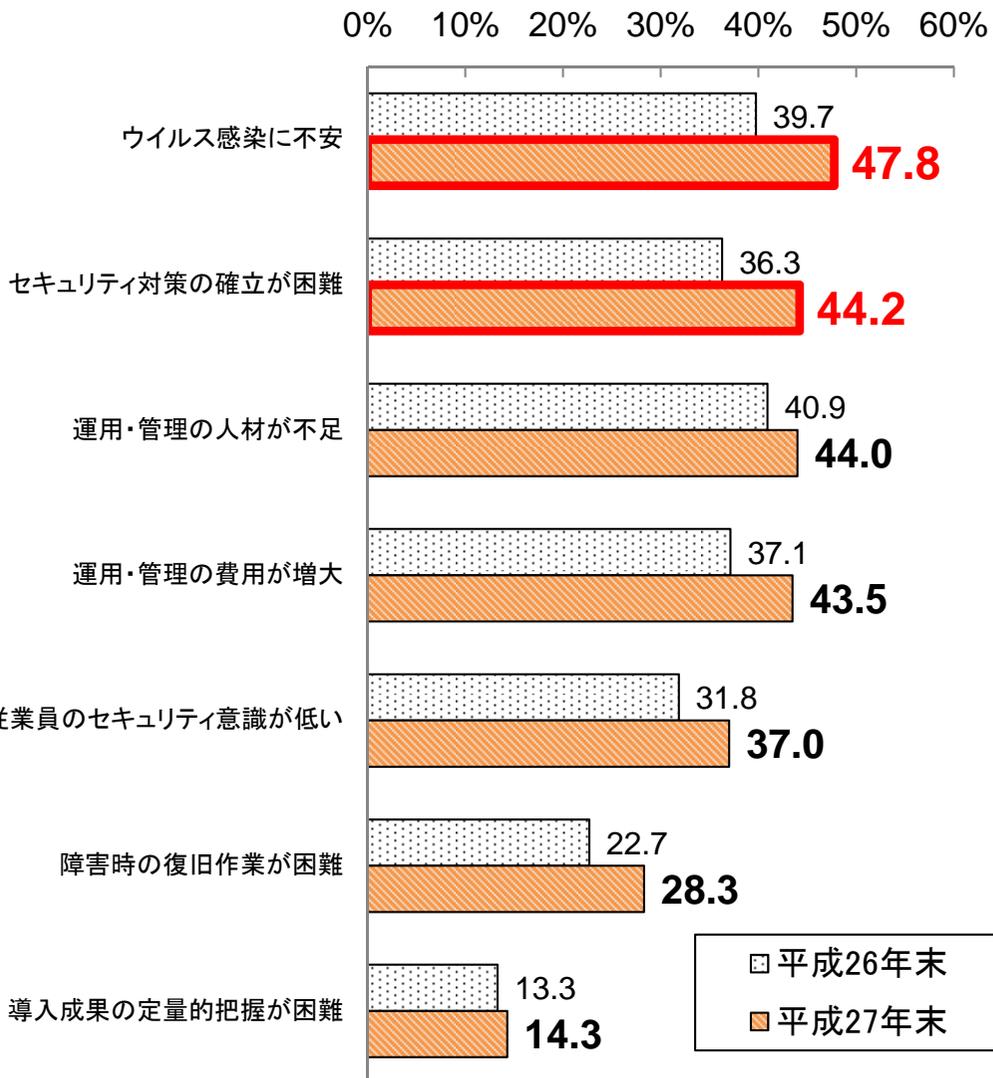
「定型的業務の効率性（生産性）の向上」「勤務者の移動時間の短縮」等のテレワークの導入目的に対する効果について、「非常に効果があった」または「ある程度効果があった」と回答した企業の割合は82.5%。



# 8 情報通信ネットワークの問題点、セキュリティ対策状況（企業）

## 企業の情報通信ネットワークの利用上の問題点

情報通信ネットワーク利用上の問題点として「ウイルス感染に不安」や「セキュリティ対策の確立が困難」等、特にセキュリティ面での問題点を挙げる企業の割合が上昇。



## 企業の情報セキュリティ対策状況

約99%の企業が何らかの情報セキュリティ対策を実施しており、具体的な対策についても割合が上昇。

